



庄原市



国土を整え、全力で備える
中国地方整備局
三次河川国道事務所
Miyoshi office of River and National Highway

こくえいびほくきゅうりょうこうえん

国営備北丘陵公園



令和 2 年 1 月 28 日

(同時資料提供)

三次記者クラブ

お知らせ

国営備北丘陵公園における社会実験（第 2 期）の実施について ～北入口エリアの無料化を継続し、さらなる広域連携を図ります～

国営備北丘陵公園では、平成 30 年 3 月より、北入口エリアの一部を無料エリアとし、地域との交流拡大を目指す社会実験を行ってきました。

これまでの社会実験で得られた活性化効果を持続させ、一層の周辺エリアでの利用を促進するとともに（→ポイント 1）、広域的な観光誘客と施設間の連携の強化を図る（→ポイント 2）ため、以下のとおり、第 2 期の社会実験を実施します。 ※詳細は別紙参照

【ポイント 1】（これまでの社会実験成果の持続）

- **公園北入口エリア（愛称「里山の駅庄原ふらり」）における無料化措置を継続。**子育て世代など地域住民の利用促進を含め、北入口エリアの更なる活性化に向けて、引き続き、情報発信、物産販売、地域交流活動等を実施。

【ポイント 2】（広域的な観光誘客・施設間連携）

- **新たに設立される「庄原版 DMO」との連携を強化。**インバウンド、高速道路利用者の利用促進も含めた広域的な観光誘客の促進のため、同組織の事務所を園内に誘致し、プロモーション面での連携を強化。
- **公園内外の諸施設の連携・活性化を検討。**公園全体及び周辺施設の活性化のため、関係主体間の協議体制を強化。

【実施期間】

令和 2 年 2 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで



お問い合わせ

- 【問い合わせ先】 国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所
副所長(公園担当) 山内 和則
公園課長 砂堀 松男 電話番号 0824-72-5000 (平日・昼間) (国営備北丘陵公園分室)
- 庄原市企画振興部 観光振興課長 定光 浩二 電話番号 0824-73-1179 (平日・昼間)
- 【広報担当】 国土交通省中国地方整備局 三次河川国道事務所 調査設計課長 伊藤 法政

【国営備北丘陵公園社会実験（第2期）の概要】

公園北入口エリアにおけるこれまでの社会実験（実施期間：平成30年3月24日～令和2年1月31日）では、地元庄原市民が気軽に立ち寄れる新たな交流スポットとして市民利用が促進され、利用者に大変歓迎されているとともに、マルシェ等のイベントを通じて、市民や他の公園来訪者が集い交流する場が提供され、にぎわいの創出に寄与しています。また、北入口エリア（無料エリア）から有料エリアへの人の移動など、北入口エリア以外のエリアへの一定のプラスの効果も確認されました。

（参考） 北エリア来訪者（推計）：8.0万人（H27年度）→8.3万人（H30年度）→8.9万人（今年度上半期）
北入口エリアから園内有料エリアへの移動者（推計）：年間1.6万人（H30年度）

一方、庄原市では、「庄原版DMO」の設立など、広域的な観光・誘客機能の強化に取り組もうとしており、「ひばの里」、「備北オートビレッジ」等、備北丘陵公園内の他のエリアとの連携可能性が高まっています。また、今回の社会実験において一定の成果は得られたものの、平成30年7月豪雨災害の影響等により、十分なデータが取得できなかった面もあり、無料化の本格実施のためには、データのさらなる蓄積が必要です。

このため、北入口エリアの活性化を引き続き基調としつつ、より広域からの誘客や、公園内外の施設間の更なる連携策等を目指して、第2期の社会実験を令和2年2月から開始します。なお、社会実験の実施期間は、備北丘陵公園運営維持管理業務の実施期間及び第2期庄原市観光振興計画の計画期間を考慮しつつ、適切な効果検証に必要な期間として、令和6年3月31日までとします。

今後、第1期の「備北丘陵公園北エリア運営協議会」を継承する協議体制を構築し、具体的な活性化計画を策定して参ります。

国営備北丘陵公園 社会実験（第2期）
実施期間：令和2年2月1日～令和6年3月31日



【庄原版DMOの概要】

DMO（観光地域づくり法人、Destination Management/Marketing Organization）は、地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的なアプローチを取り入れた観光地域づくりを行う舵取り役となる法人のことで、

庄原市が平成31年3月に策定した「第2期庄原市観光振興計画」では、観光推進体制の強化を図るための舵取り役として、「庄原版DMO」を形成・確立し、多様な団体・事業者等と連携しながら、稼ぐ観光地域づくりを積極的に推進するとされています。

現在、庄原市では、令和2年4月の設立を目標として、庄原版DMOの設立準備を進めています。備北丘陵公園との連携効果を高めるため、DMOの事務所を公園内の施設に誘致する予定です。